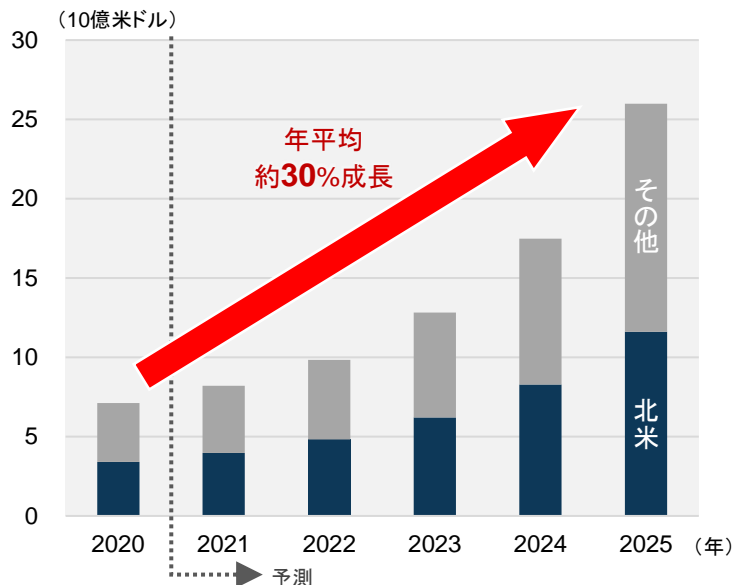


- コミュニケーションプラットフォームサービス(以下、CPaaS、Communications Platform as a Service)とは、主に企業が消費者などとコミュニケーションをとる際に必要な音声通話や動画、メッセージなどの通信機能を提供するクラウドサービスのことで、企業が自社サービスにコミュニケーションツールを容易に組み込むことができます。
- 近年、インターネットやスマートフォンの普及で、メールやSNS(交流サイト)、電話など、複数チャンネルでコミュニケーションをとる機会が増えています。一方、企業ではチャンネルごとに環境を整備するコストが増大しているため、複雑な専門知識がなくても手軽に複数チャンネルをシステム化できるCPaaSを導入して、解決を図ろうとしています。

世界のCPaaS市場の推移

- CPaaSを導入するメリットは、開発コストを掛けずに短期間で機能追加が可能で、セキュリティ面も優れていることなどが挙げられます。
- 企業にとっては、業務の効率化や顧客満足度の向上が期待されます。

2020年～2025年(2021年以降は予測)

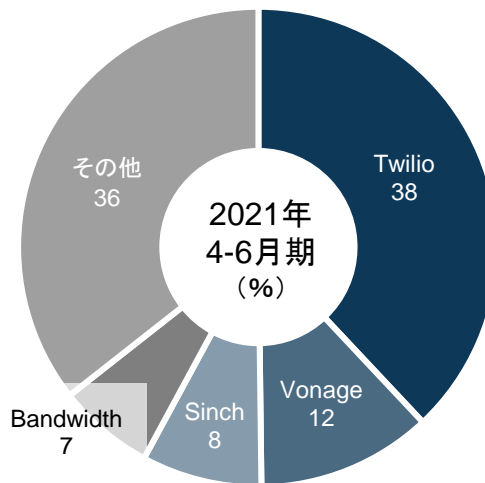


出所: Juniper Research

※上記は過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

世界の主なCPaaSブランドのシェア

- CPaaSは、音声通話の発信や着信応答、ビデオチャットやテキストメッセージの連携、2要素認証に加え、システム障害の検知や通知、医療・介護現場でのアラート通知、コールセンター構築など、多岐にわたって活用されています。
- 最近では、中小企業を中心に、従業員の働き方の柔軟性、企業にとってはコスト削減などの観点から、CPaaSを導入して従業員が個人で所有する情報端末を業務に利用するケースが増えています。



Twilio (Twilio(米国)が提供)

- 毎年開催される開発者会議を通じて製品活用事例を提案するなど、ユーザーとの関係構築を主眼に置いています。料金体系は従量制も採用しています。
- コンタクトセンターの一元管理、音声のテキスト化とテキストの自動音声化、チャットの自動化などのサービスを提供しています。

Vonage (Vonage HD(米国)が提供)

- 主軸事業をIP電話サービスからCPaaSにシフトした経緯があるVonage HDは、昨年、スウェーデンの通信機器大手Ericssonの完全子会社になることで合意しています。
- 主力サービスはデジタルマーケティングなどで、12万超のユーザーがいます。

Sinch (Sinch AB(スウェーデン)が提供)

- モバイルメッセージを簡単にしたい、という思いから創業したSinch ABは、メッセージングや音声、ビデオなどを容易にアプリに取り込めるサービスを提供しています。

Bandwidth (Bandwidth Inc.(米国)が提供)

- Bandwidthの独自プログラムを活用することで、音声やメッセージ、緊急サービス機能を、容易にソフトウェアやアプリに組み込むことができます。

出所: Synergy Research Group

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、弊社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。